

# 丸山正義先生 略歴



## <生年月日>

昭和23年4月6日

## <学歴>

昭和53年 3月

慶應義塾大学 文学部 文学科フランス文学専攻  
卒業

昭和53年 4月

慶應義塾大学大学院 文学研究科 フランス文学  
専攻 修士課程入学

昭和55年 3月

慶應義塾大学大学院 文学研究科 フランス文学  
専攻 修士課程修了〔文学修士〕

昭和59年 3月

慶應義塾大学大学院 文学研究科 フランス文学  
博士課程単位取得後退学

## <職歴>

平成 4年 4月 明星大学 一般教育 外国語 専任講師（平成 9年3月まで）

平成 9年 4月 明星大学 一般教育 外国語 助教授（平成16年3月まで）

平成16年 明星大学 日本文化学部 教授

平成16年 4月 明星大学 一般教育 外国語 教授（平成22年3月まで）

平成22年 4月 明星大学 人文学部 全学共通教育 教授（平成30年3月まで）

平成30年 4月 明星大学 教育学部 教育学科 教授（現在に至る）「上級フランス語1、上級フランス語2、上級フランス語3、上級フランス語4、人文科学論3、外国の文学1、外国の文学2、外国事情2【ヨーロッパ事情】、外国語（フランス語）3B、外国語（フランス語）4B、言語・文化特講C、言語・文化研究Ⅰ」担当

## <学会及び社会における活動等>

平成 6年 4月 個人研究 プルーストと音楽（現在に至る）

平成14年 4月 個人研究 パリ音楽院とフランソワ・アブネック（現在に至る）

平成19年 4月 個人研究 プルースト・印象主義・ジャポニスム（現在に至る）

## <教育研究業績>

### [研究内容のキーワード]

印象主義、文学、絵画、音楽、ジャポニスム

### [教育方法の実践例]

プレゼンテーションの導入（KeyNoteを使用した授業）外国の文学1, 2

平成28年4月1日～現在に至る

### [作成した教科書、教材]

言語・文化特講C教科書の作成 「巨匠の陰に隠れて」

平成22年4月1日～現在に至る

## <学術論文>

1. La chute du royaume arthurien - l'adieu de Perceval à l'amour courtois（アーサー王国の崩壊——宮廷風恋愛に対するペルスヴァルの別れ）単著 昭和58年3月 『杏林大学研究報告. 医学部教養部門』第7巻 （杏林大学）
2. La chute du royaume arthurien - Gauvain et l'Autre Monde（アーサー王国の崩壊——ゴーヴァンと異界）単著 昭和62年3月 『杏林大学研究報告. 医学部教養部門』第8巻 （杏林大学）
3. 名前について——クレチアン・ド・トロワの物語をめぐって 単著 昭和62年3月 常盤大学人間科学部紀要『人間科学』第4巻第2号 （常盤大学）
4. 未完の物語、二重の物語 単著 昭和63年3月 慶應義塾大学日吉紀要『フランス語フランス文学』第6号 （慶應義塾大学）
5. クレチアン・ワグナー・ブルースト——ジャン＝ジャック・ナティエ『音楽家ブルースト』を読む 単著 平成3年3月 慶應義塾大学日吉紀要『フランス語フランス文学』第12号 （慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会）
6. 雪上の血、もしくは「鳥」のアレゴリー——クレチアン『聖杯物語』の一解釈 単著『藝文研究』第63号、平成5年3月 （慶應義塾大学藝文学会）
7. ブルーストと音楽——序 単著 平成6年3月 『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』第2号 （明星大学青梅校舎）
8. 『タイスの瞑想曲』はなぜ官能的か？ 単著 平成12年3月 『表現——目的と手段』（明星大学日本文化学部共同研究論集）第二輯 （明星大学日本文化学部）
9. オペラに行こう 単著 平成12年3月 明星大学情報学部・日本文化学部育星会『青梅会報』第16号 （明星大学情報学部・日本文化学部育星会）
10. 音楽を描写する 単著 平成12年3月 『明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集』(3) （明星大学青梅校）
11. オデットとスワン——前衛の一九一三年 単著 平成13年3月 『明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集』(5) （明星大学青梅校）
12. 小楽節のかなた（1）——「スワンの恋」と「ヴァントゥイユのソナタ」 単著 平成13年3月 『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』(9) （明星大学青梅校）

13. パリに鳴り響いたベートーヴェン——先達フランソワ・アブネックの楽曲解釈 単著  
平成14年3月『明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論集』(5) (明星大学青梅校)
14. 小楽節のかなた (2) ——「スワンの恋」と「ヴァントゥイユのソナタ」 単著 平成  
14年3月『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』(10) (明星大学青梅校)
15. 楽譜の言葉とその形象化—演奏と楽曲解釈 単著 平成15年3月『明星大学青梅校舎  
日本文化学部共同研究論集』(6) (明星大学青梅校)
16. 印象主義と文学——モネとブルースト、『スワン家の方へ』におけるヴィヴィオンヌ川の  
描写をめぐって 単著 平成19年3月『明星大学青梅校舎日本文化学部共同研究論  
集』(10) (明星大学青梅校)
17. プルーストと印象主義 単著 平成21年3月 明星大学研究紀要日本文化学部・言語文  
化学科 (17) (明星大学青梅校)
18. 『水の反映』——ジヴェルニーの「睡蓮の池」、モネとドビュッシーをめぐる随想 単  
著 平成22年3月『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』(18) (明星大  
学青梅校)
19. プルーストの音楽——『音楽家プルースト』再読 単著 平成23年3月『明星大学研  
究紀要 人文学部・日本文化学科』(19) (明星大学日野校)
20. カミュー——若きクロード・モネを支えた女性 単著 平成24年3月『明星大学研究  
紀要 人文学部・日本文化学科』(20) (明星大学日野校)
21. プルーストのマニエリスム 単著 平成29年3月『明星大学研究紀要 人文学部・日  
本文化学科』(25) (明星大学日野校)

#### <翻訳>

1. ジョルジュ・デュビイ『中世における女性の社会的地位』単訳 昭和58年3月『日仏  
文化』No. 42. (日仏会館)
2. ジョルジュ・イフラー『数字の歴史』共訳(共訳者：彌永みち代、後平隆) 昭和63  
年6月 平凡社
3. ダニエル・シャルル『音楽とエクリチュール』単訳 平成元年3月 慶應義塾大学日  
吉紀要『フランス語フランス文学』(8)(慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会)
4. アンリ＝ルイ・ド・ラ・グランジュ『グスタフ・マーラー』1～5 単訳 平成6年～  
平成20年『明星大学研究紀要 日本文化学部・言語文化学科』第2号～第15号 (明星  
大学青梅校)
5. ミッシェル・デボスト『フルート演奏の秘訣』上・下二巻 単訳 平成15年4月  
(音楽之友社)